

高校日本史プリント (過去問類似)

原始・古代 No.7

名前

得点

/10

問1 平安時代中期以降、貴族は朝廷の儀式や先例を子孫に伝えるため、詳細な日記を書き残すようになった。このうち、藤原実資によって著され、藤原道長が詠んだ「この世をば」の歌が記録されていることでも知られる日記は何か。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 兵範記 2. 左経記 3. 中右記 4. 小右記

問2 平安時代初期に、真言宗の開祖である僧侶が京都に設立した、庶民や僧侶を対象とした日本最初の私立の教育機関は何か。

(2004年 全国公立入試 類似)

1. 足利学校 2. 大学別曹 3. 金沢文庫 4. 綜芸種智院

問3 平安時代初期、有力な貴族は大学に学ぶ一族の子弟のために大学別曹と呼ばれる施設を設けた。このうち、藤原氏によって設置され、のちに大学の教官から講義を受けるなど教育機関としての性格を強めたものは何か。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 勸学院 2. 奨学院 3. 弘文院 4. 学館院

問4 平安時代の貴族は、宮廷における儀式や年中行事、先例などの知識や経験を正確に記録し、家職を継承する子孫へ伝えるために漢文による日記を残した。こうした日記のうち、摂関政治の全盛期を築いた人物が自ら執筆し、当時の政治や宮廷生活の様子を伝える自筆本が現存していることで知られる日記は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 中右記 2. 貞信公記 3. 小野宮記 4. 御堂関白記

問5 平安時代中期に建立され、その初層内部の板壁や柱に、真言密教の教理を視覚的に表現した絵画が描かれている、京都に現存する最古の木造五重塔をもつ寺院はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 園城寺 2. 醍醐寺 3. 延暦寺 4. 神護寺

問6 9世紀初め、平城太上天皇と嵯峨天皇の対立を背景に、平城京への復都を目指した藤原仲成らが拳兵を凶って失敗する事件が起こった。この事件を契機に、嵯峨天皇は機密保持と迅速な命令伝達のために蔵人頭を設置し、天皇の命令が太政官へ伝達される体制を整えた。この、のちに蔵人所が設置される契機となった政争を何というか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 安和の変 2. 承和の変 3. 昌泰の変 4. 葉子の变

問7 7世紀後半の地方支配の実態を示す史料として、藤原京跡などから出土した木簡が挙げられる。『日本書紀』の改新の詔には、地方行政組織として「国・郡・里」を整備したと記されているが、これらの木簡の分析により、701年の大宝令が施行されるまでは、「郡」ではなく別の漢字で表される行政単位が置かれていたことが明らかになった。この大宝令以前に用いられていた地方行政単位を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 国 2. 郡 3. 里 4. 評

問8 縄文時代に製作された、粘土を焼き固めた人形(ひとがた)の造形物について述べた文として正しいものはどれか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 銅鏡 2. 石棒 3. 銅鐸 4. 土偶

問9 6世紀半ばの欽明天皇の時代頃に朝廷でまとめられたとされる、大王の系譜を記したものと、神話や伝承を記したものの総称で、のちに天武天皇の命によって編纂が始まり、8世紀に完成した『古事記』や『日本書紀』の原史料となったとされる史料を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 帝紀・旧辞 2. 古事記・風土記 3. 天皇記・国記 4. 古事記・日本書紀

問10 志賀島で「漢委奴国王」の金印が授与されたとされる時代には、農耕社会の成立に伴う集落間の争いに備え、周囲に深い堀や土塁を巡らせた防衛機能を持つ集落が形成された。見張り用の高床建物跡などが検出されている、このような特徴を持つ集落の形態を何と呼ぶか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 拠点集落 2. 環濠集落 3. 高地性集落 4. 環状集落

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 4 小右記	平安時代中期以降、家職の固定化に伴い、朝廷の儀式や先例（有職故実）を子孫に伝えるための日記が盛んに書かれた。小野宮流の藤原実資が著した『小右記』は、当時の政治や社会を知るための貴重な史料であり、藤原道長が詠んだ「この世をば」の歌が記録されていることでも有名である。
問2	答え 4 綜芸種智院	平安時代初期、空海は身分に関わらず庶民や僧侶が広く学べる場として、京都に日本初の私立学校を創設した。当時の公的な教育機関であった大学や国学が貴族や郡司の子弟に限定されていたのに対し、広く門戸を開いた点に特徴がある。
問3	答え 1 勸学院	平安時代初期、有力貴族は一族の学問を奨励し、大学に学ぶ子弟を支援するために大学別書を設置した。藤原氏が設けた勸学院のほか、和気氏の弘文院、橘氏の学館院、在原氏の奨学院などがある。
問4	答え 4 御堂関白記	平安貴族が日記を執筆した重要な目的は、朝廷の儀式や公事の作法、過去の先例などの実務的知識を記録し、子孫へ伝えることにあった。藤原道長が執筆した『御堂関白記』は、その代表例であり、自筆本が現存する世界最古の日記としてユネスコの「世界の記憶」に登録されている。
問5	答え 2 醍醐寺	醍醐寺五重塔は951年に完成した京都府下最古の木造建築物である。その初層内部には、密教の教理に基づく両界曼荼羅や真言八祖像などの壁画が描かれており、密教的な空間が構成されている。
問6	答え 4 薬子の変	嵯峨天皇と平城太上天皇（平城上皇）の対立を背景に、平城上皇の復権と平城京への復都を企てた藤原薬子や藤原仲成らが挙兵に失敗した事件である。この事件を機に、嵯峨天皇は機密保持と迅速な命令伝達のために蔵人頭を設置し、天皇の命令が蔵人所を通じて太政官に伝達される体制が整えられた。別名「平城太上天皇の変」とも呼ばれる。
問7	答え 4 評	『日本書紀』には大化の改新の際に「郡」が設置されたと記述されているが、これは後世の編纂時に大宝律令制定後の制度に合わせて書き換えられたものである。藤原京跡などから出土した木簡の分析により、大宝令が施行されるまでは「評」という文字が用いられており、大宝律令の制定によって初めて「郡」に改められたことが明らかになった。このように、文献史料と考古学史料（木簡）の比較によって歴史の実態が解明された好例である。
問8	答え 4 土偶	縄文時代に作られたこの造形物は、女性をかたどったものが多く、繁殖や生命力、豊かな生産力を祈る呪術的な意味があったと考えられている。また、病気や怪我の治癒を祈って意図的に破壊されたとみられるものが多く、完全な形で出土することは極めて稀である。古墳の墳丘や周囲に並べられたのは埴輪であり、これとは区別される。
問9	答え 1 帝紀・旧辞	6世紀半ばの欽明天皇期頃に、朝廷において大王（天皇）の系譜を記した「帝紀」と、神話や伝承を記した「旧辞」がまとめられたとされる。これらは、天武天皇の命によって舎人親王や太安万侶らが編纂に関わり、奈良時代に完成した『古事記』や『日本書紀』の原史料となった。蘇我馬子が聖徳太子とともに編纂したとされる『天皇記』や『国記』は、乙巳の変の際に多くが焼失したと伝えられており、これらとは区別して理解する必要がある。
問10	答え 2 環濠集落	稲作の普及に伴って共同体間の対立や戦争が生じるようになると、集落の周囲に深い堀や土塁を巡らせて防衛機能を高めた集落が発達した。佐賀県の吉野ヶ里遺跡などに代表されるこの集落形態では、何重もの堀や見張り用の高床建物跡などが検出されている。なお、温暖化による海面上昇や貝塚の形成は主として縄文時代、半地下式の窯で焼かれる須恵器は古墳時代、ナウマン象の狩猟は旧石器時代の特徴である。